

平成27年度行政事業レビューシート(

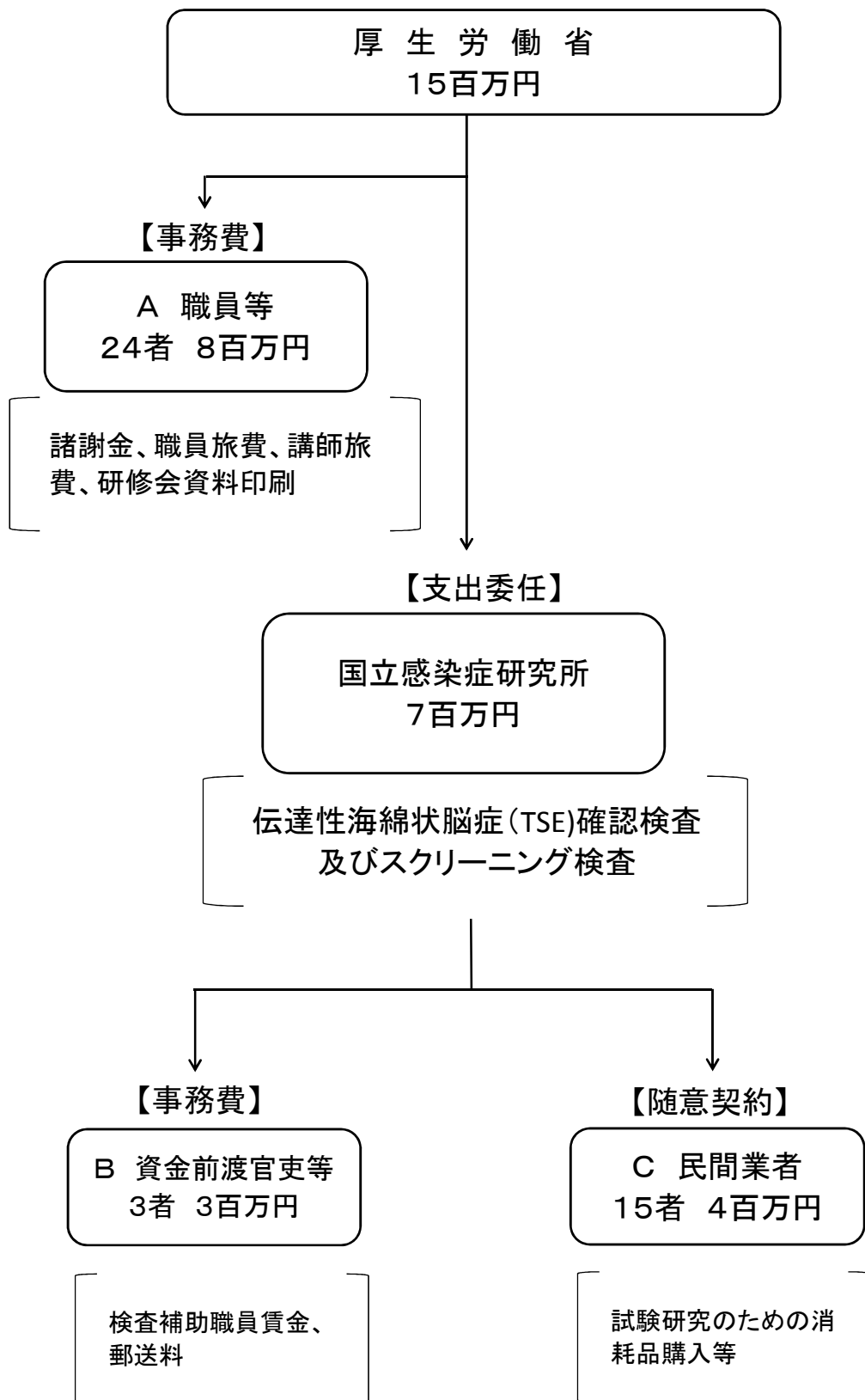
厚生労働省)

<b>事業名</b>	BSE対策など食肉の安全確保対策推進事業			<b>担当部局庁</b>	医薬食品局食品安全部			<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	平成14年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	監視安全課			滝本 浩司	
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	II-1-1 食品等の飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止すること				
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	食品衛生法第2条、と畜場法第2条、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律第1条の2、牛海綿状脳症対策特別措置法第3条 等			<b>関係する計画、通知等</b>	「牛海綿状脳症に関する検査の実施について」(部長通知)				
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	食鳥肉・食肉等の安全確保、監視指導体制を強化するため、米国、カナダ等からの牛肉輸入における対日輸出条件の現地査察、都道府県等が行うBSEスクリーニング検査に対する外部精度管理、都道府県等の食品衛生監視員、食鳥検査員、と畜検査員の検査技術等の向上を図るための講習会、研修会を開催し、食の安全を確保する。								
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	米国及びカナダ等の牛肉の対日輸出施設等に対して定期的に査察を行うとともに、BSEスクリーニング検査の外部精度管理、食品衛生監視員に対する疫学調査、監視指導等に関する講習会の実施、食鳥検査員及びと畜検査員に対する検査技術や衛生管理、疾病診断法等に関する研修会の実施								
<b>実施方法</b>	直接実施								
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算の状況	当初予算	19	15	15	14	14		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	19	15	15	14	14		
	執行額	23	11	15					
執行率(%)	121%	73%	100%						
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
<b>定量的な成果目標の設定が困難な場合</b>	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績					
	当事業は、輸入食肉に対して確認検査を行い、輸入条件に不適合なものを国内に流通させないことを目的とした事業であるが、輸入されようとする輸入条件に不適合な食肉の数は、当事業で制御できるものではないので、目標設定は困難。			成果目標:輸入条件に適合しない輸入食肉を国内に流通させない。 達成状況:24~26年度において流通事例は1件も発生していない。 (不適合確認件数:平成24年度1件、平成25年度5件、平成26年度2件)					
<b>事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績</b>	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度	
	効率的な予算執行	事業実施にかかる単位当たりコストの減少率(対前年度比) 実績:当該年度 目標値:前年度	実績	千円	609	556	615	-	
			目標値	千円	-	609	556	615	
			達成度	%	-	91.3%	110.6%	-	
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	海外において現地査察を行った対日輸出施設数	活動実績	件	14	8	23	-		
		当初見込み	件	14	8	14	15		
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	外部精度管理を行った施設数	活動実績	件	33	26	23	-		
		当初見込み	件	38	26	26	23		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	単位当たりコスト = X / Y X:「海外出張に係る費用」 Y:「査察施設数」	単位当たりコスト	千円	396	348	322	318		
		計算式	X/Y	5,540千円/14	2,786千円/8	7,402千円/23	4,770千円/15		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	単位当たりコスト = X / Y X:「外部精度管理に係る費用」 Y:「外部精度管理を行った施設数」	単位当たりコスト	千円	213	208	293	293		
		計算式	X/Y	7,041千円/33	5,404千円/26	6,750千円/23	6,750千円/23		

平成 27・28 年度 予算 内訳 (単位： 百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由
	諸謝金	0	0	
	職員旅費	5	5	
	委員等旅費	0	0	
	庁費	1	1	
	食品等試験検査費	8	8	
計	14	14		

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	食肉等食品の安全性を確保するための事業であり、国民の生命・健康に直結するため、国費を投入する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	海外から日本へ輸出する食肉の輸出条件に係る協議などは政府間で実施する必要があるため、国が実施する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	食品の安全性を確保するための事業であり、国民の生命・健康に直結するため、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	随意契約において複数者から見積りを取得しており、妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	現地調査に先立ち入念な計画及び調査、随意契約において複数者から見積りを取得する等、妥当なコストである。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	食肉の対日輸出施設に対する査察など、食品の安全性確保に必要なものみに支出されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	定性的な成果目標として、輸入条件に適合しない輸入食肉が毎年確認されており、当事業の実施結果、流通実績は0件となっており、目標を達成している。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業実施に当たって、他の手段等は考えられない。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みどおり実施している。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	研修会により検査員の技術力向上に努め、日々の検査において活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	事業「家畜衛生対策事業」は、死亡牛に対してのBSE検査に係る費用を助成する事業であるが、当事業は食肉としてと畜する際にBSE検査を行う検査員に対して研修等を行う事業である。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	農林水産省消費・安全局		家畜衛生対策事業		
点検・改善結果	点検結果	食肉等の食の安全確保は国民の安心・安全のために重要な事項であるため、諸外国からの牛肉輸入における現地査察、都道府県等が行うBSEスクリーニング検査に対する外部精度管理、都道府県等の食品衛生監視員等の検査技術等の向上を図るための講習会、研修会を開催し(平成26年度は2回開催)、食肉の安全を確保するものである。現地調査については、平成26年度は7カ国(米国、カナダ、オランダ、フランス、ポーランド、スウェーデン、デンマーク)で実施し、対日輸出条件の遵守状況の確認及び相手国政府との意見交換等により、不適合事案(平成26年度は2件)の防止に努めているところである。			
	改善の方向性	平成25年度は相手国との調整等で年度内に実施できなかった現地調査があり不用額もあったが、今年度は計画どおりに実施した。来年度も、日程や経路を調整することで、効率的な旅程となるよう努める。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	点検結果も妥当であり、また、米国等からの牛肉輸入に係る現地視察を実施し、不適合事案の防止を図るなど、食肉等の安全性確保に必要な経費であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行を図ること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
-					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	326	平成23年度	296	平成24年度	299
平成25年度	299	平成26年度	311		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.個人A			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	対日輸出施設への調査等に係る旅費	1.7			
計		1.7	計		0
B.資金前渡官吏			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	検査補助職員賃金	2.6			
計		2.6	計		0
C.岩井化学薬品株式会社			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	BSE検査キット等消耗品購入	1.7			
計		1.7	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

## 支出先上位10者リスト

### A.職員等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	出張旅費	1.7	-	-
2	個人B	出張旅費	1.3	-	-
3	個人C	出張旅費	1.3	-	-
4	個人D	出張旅費	0.9	-	-
5	個人E	出張旅費	0.8	-	-
6	個人F	出張旅費	0.7	-	-
7	個人G	出張旅費	0.7	-	-
8	(株)太陽美術	資料等印刷業務	0.5	随意契約	-
9	(株)JTB首都圏 BTO新橋営業所	出張チケット手配業務	0.3	随意契約	-
10	個人F	出張旅費	0.1	-	-

### B.資金前渡官吏等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	資金前渡官吏	検査補助職員賃金	2.6	随意契約	-
2	日本郵便株式会社	郵便	0.1	随意契約	-
3	ヤマト運輸株式会社	ゆうパック	0	随意契約	-

### C.民間会社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩井化学薬品株式会社	ニッピブルBSE検査キット購入ほか14件	1.7	随意契約	-
2	理科研株式会社	バイオボトル(1Lブルートップ)等購入ほか7件	0.5	随意契約	-
3	株式会社 アルバーネット	安全キャビネットHEPAフィルター交換及び性能検査役務ほか1件	0.4	随意契約	-
4	株式会社 和科盛商会	NuPAGE NP0342BOX等購入ほか2件	0.3	随意契約	-
5	(株)池田理化	data collection 修理役務ほか1件	0.3	随意契約	-
6	BMG LABTECH JAPAN Ltd.	マイクロプレートリーダーの修理役務	0.2	随意契約	-
7	(株)豊島製作所	組織培養用マイクロプレート96孔等購入ほか2件	0.2	随意契約	-
8	ナカライテスク株式会社	NuPAGE(NP0302BOX) 等購入ほか1件	0.1	随意契約	-
9	株式会社チヨダサイエンス	ピペットチップ ART1000E等購入ほか4件	0.1	随意契約	-
10	本道産業(株)	ドライアイス購入	0.1	随意契約	-